

取扱説明書

Version 2.1. SH

型番 CAPMPFC3



保証期間：購入日から購12ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

●故障かな？と思ったら●

修理・メールのお問い合わせは、下記ページにアクセスしてください。

<https://www.thanko.jp/smartphone/page59.html>

または QR コードを読み込んでアクセスしてください。

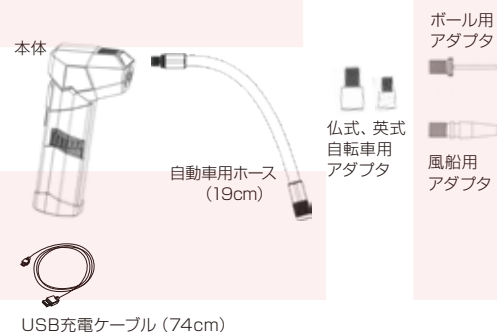


不具合品のご送付先

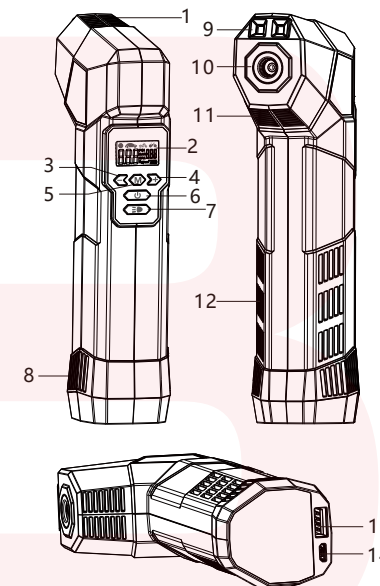
〒341-0043 埼玉県三郷市栄 4-72-1
EL 倉庫内 サンコーサポート宛
TEL 03-3526-4328 FAX 03-3526-4329
(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)
お問い合わせメールアドレス support@thanko.jp

●仕様

サイズ	高さ193×幅48×厚み52～83(mm)
重量	420g (本体のみ)
バッテリー容量	3,900mAh
インプット	5V/2A
USBアウトプット	5V/2A
最大出力空気圧	150PSI
LEDライト消費電力	1W
LEDライト駆動時間	約8時間
連続使用可能時間	約25分 (気温やタイヤの種類などによって変わります。)
動作温度範囲	-15℃～55℃ (充電時: 0℃～45℃)
充電時間	2AのACアダプターで約3～4時間
内容品	本体、自動車用ホース、仏式自転車用アダプタ、英式自転車用アダプタ、ボール用アダプタ、風船用アダプタ、USB充電ケーブル (74cm)、日本語説明書



●各部名称



1.排気口 2.液晶モニター 3.マイナスボタン 4.プラスボタン
5.モードボタン 6.スタート・ストップボタン 7.LEDボタン
8.吸気口 9.LEDライト 10.コネクタ
11.排気口 12.吸気口 13.USB出力 14.充電口 (入力)

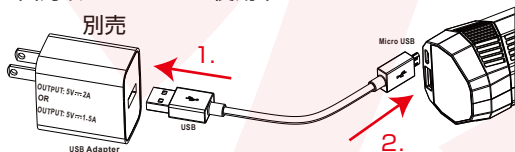
※液晶表示部・ボタン部に保護フィルムが貼ってあります。

① 本体を充電する

別売

USB AC アダプタ (別売) を用意してください。 (出力2A以上)

1. microUSB ケーブルを AC アダプター (別売) に接続してください。 USB AC アダプターは2A出力以上のものをご使用下さい。



2. 【液晶モニター】が点灯している状態で、microUSB ケーブルの【micro(B) コネクタ】を【充電口】に接続してください。

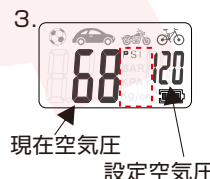
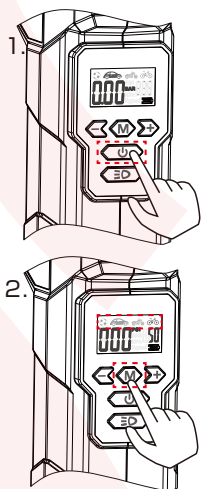


バッテリー
残量表示



ケーブルを接続すると【液晶モニター】が点灯して残量表示が点滅し充電が始まります。残量に応じて左記のとおり変わります。満充電になると【液晶モニター】の表示が消えます。ケーブルを抜いて下さい。

② 使用する (設定のしかた)

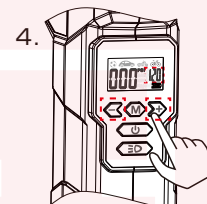


1. まず、「**0**」と書いてある【スタート・ストップボタン】を一度押してください。電源が入り【液晶モニター】が点灯します。(長押しすると電源がオフになります。約1分間操作が無いと自動でオフになります)

2. 「0」の数値が表示された状態で M【モードボタン】を押していくと、【液晶モニター】上側に表示されている接続対象アイコンが「クルマ」→「バイク」→「自転車」→「ボール」… (繰り返し) の順に変わっていきます。

3. M【モードボタン】を長押しすると単位が点滅し、M ボタンを押すごとに「PSI」→「BAR」→「KPA」→「Kg/cm」→「PSI」… (繰り返し) の順に変わっていきます。

空気を入れる対象物の取扱説明書に記載されている、適切な空気圧の単位を確認し、適切な単位のところに来るまで、M【モードボタン】を押して行って下さい。適切な単位のところまで来たら、【モードボタン】ボタンを押すのをやめて下さい。



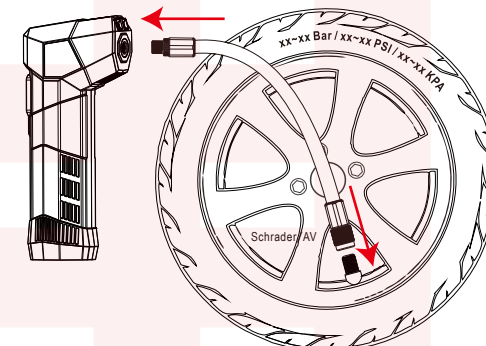
4. 次に、+【プラスボタン】または-【マイナスボタン】を押してください。右端の数値が増減し、現在設定中の目標空気圧が表示されます。

空気を入れたいタイヤの取扱説明書に記載されている適正な空気圧の値を確認し、推奨空気圧の値を設定してください。

この動作で設定した空気圧数値が「目標空気圧」として記録され、この数値に届くまで空気の注入動作が行われます。この設定は空気を入れる前に確認を行って下さい。(設定数値はモードを切り替えなければ電源をオフにしても保持されます)

③ 使用する (車のタイヤの空気圧計測、注入)

車のタイヤの空気を入れます。【自動車用ホース】を本体と車のタイヤに接続します。



本体の【コネクタ】に【自動車用ホース】のネジ山がある方 (オス側) を時計まわりにねじ込んで下さい。

続きます→

③ 使用する(車のタイヤの空気圧計測、注入)(つづき)



車のタイヤの説明書に従い、タイヤのバルブのキャップを外し、【自動車用ホース】のネジ山のない方(メス側)をタイヤに適切にねじ込んで固定して下さい。



スタート・ストップボタン

本体とタイヤの接続ができましたら、「**⏻**」と書かれた【スタート・ストップボタン】を一度押し、電源を入れて下さい。立ち上がりましたら、自動的に現在のタイヤの空気圧が【液晶モニタ】の左側に表示され、計測する事ができます。

⑤ 使用する(自転車のタイヤの空気圧計測、注入)



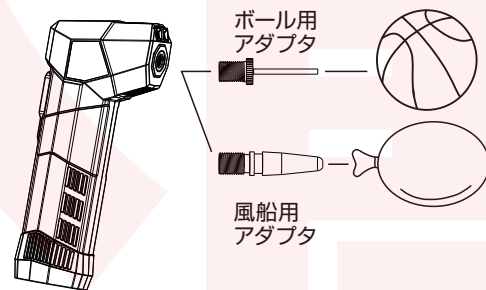
4.

3. 自転車のタイヤの説明書に従い、タイヤのバルブのキャップを外し、【仏式、英式自転車用アダプタ】をタイヤに適切にねじ込んで固定して下さい。

4. 本体とタイヤの接続ができましたら、「**⏻**」と書かれた【スタート・ストップボタン】を一度押し、電源を入れて下さい。立ち上がりましたら、左側に現在のタイヤの空気圧が【液晶モニタ】に表示されます。

【スタート・ストップボタン】を一度押して空気を入れて下さい。詳しくは前項の④【使用する(空気を入れる)】を参照して下さい。

⑥ 使用する(ボール、風船に空気注入する)

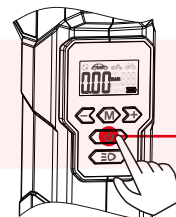


ボールや風船に空気を入れます。【ボール用アダプタ】または【風船用アダプタ】のネジ山のある方を本体の【コネクタ】にねじ込み、接続します。

ボールまたは風船の説明書を参照し、適切な空気圧を設定します。設定の仕方は前項の②【使用する(設定のしかた)】を参照して下さい。

その後、各アダプタをボールや風船に差し込み、空気を入れます。詳しくは前項の④【使用する(空気を入れる)】を参照して下さい。

④ 使用する(空気を入れる)



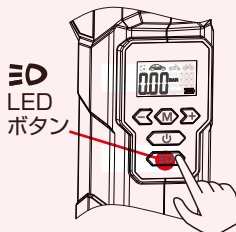
スタート・ストップボタン

空気圧を計測し、空気を入れる必要がある場合、本体の**⏻**【スタート・ストップボタン】を一度押して下さい。空気の注入が開始されます。前項で設定した空気圧になるまで空気の注入が続けられます。設定した、目標空気圧に達すると自動的に空気注入が停止されます。

※空気の注入中に【スタート・ストップボタン】を一度押すと空気の注入を一時停止できます。異常を感じた場合や、空気が十分な場合は途中で停止して空気注入をやめてください。
※空気圧が計測できない場合、空気注入が途中で止まります。

空気を入れ終わりましたら、【自動車用ホース】を本体、タイヤから外して下さい。電源は約1分何も操作しないと自動的に切れます。

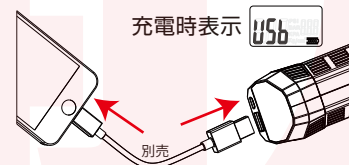
● 使用する(LEDライトをつける)



電源オン時に**LED** ボタンを一度押して下さい。前面の【LED ライト】が点灯します。もう一度ボタンを押すと、ライトが点滅します。さらにもう一度ボタンを押すと点滅のパターンが変わります。

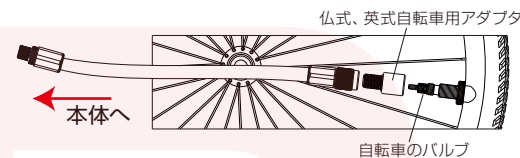
さらにもう一度ボタンを押すと LED ライトが切れます。

● 使用する(モバイル機器を充電する)



お手持ちの充電ケーブル(別売)の USB コネクタを【USB アウトプット】に接続して下さい。接続しましたら、反対側のコネクタを充電する機器に接続して下さい。自動的に送電が開始されます。

⑤ 使用する(自転車のタイヤの空気圧計測、注入)



自転車のタイヤの空気を入れます。【自動車用ホース】と【仏式、英式自転車用アダプタ】を接続し、本体と自転車のタイヤに接続します。

1. まず、本体と【自動車用ホース】を接続します。詳しくは前項(説明書表面 ③使用する の項目)を参照してください。
2. 次に【仏式、英式自転車用アダプタ】を【自動車用ホース】に接続します。自転車アダプタのオス側をホースに時計回りでねじ込んで下さい。

● 使用する(モバイル機器を充電する)続き

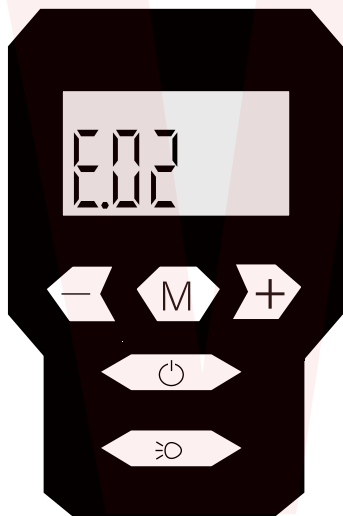
この時、ポンプ本体の電源が切れていることを必ず確認してください。本体の電源が入っている状態ではモバイル機器へ安全な送電ができませんのでご注意ください。充電が終わりましたら、ケーブルを抜いてください。

⚠️ ご注意

- 空気を入れる前に、タイヤの推奨空気圧値を必ず確認してください。特に、車や自転車の場合、空気を入れすぎると破裂などの危険性が高まり大変危険です。推奨空気圧値がわからない場合は、タイヤを購入した購入店やメーカなどに問い合わせを行い、必ず確認するようにしてください。
- 適切な空気の流れを維持するために、ホースを曲げないでください。
- 空気を入れている間は無人にならず、必ず監視を行うようにしてください。
- 子供の手の届くところに置かないようにしてください。
- ホースを人間や動物の口、耳、または目に挿入しないでください。
- タイヤやボールを膨らませるなど、本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 最初の使用時はフル充電してからお使いください。
- 小さなお子様の手が届くところで保管、使用しないでください。
- 内容品に記載している以外の物は付属しません。
- 本製品をご利用において生じる物品の破損/故障は、補償の対象外となります。
- 分解しないでください。
- 落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 高温/多湿/火気近くで保管、使用しないでください。
- 異常を感じたらご使用をやめてカスタマーサポートまでご連絡ください。
- 仕様は改善のため予告無く変更する場合があります。

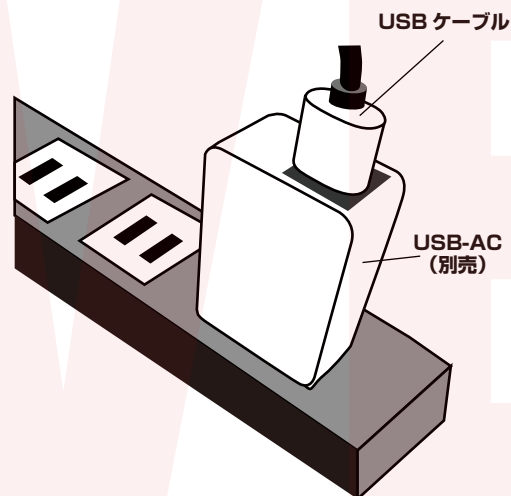
E02エラーと表示される場合

充電を行っても E02 と表示される場合、電池残量が無くなっており充電ができない状態となっております。お手数になりますが、この紙に記載の内容を行い、充電が可能な状態にしてから充電を行ってください。



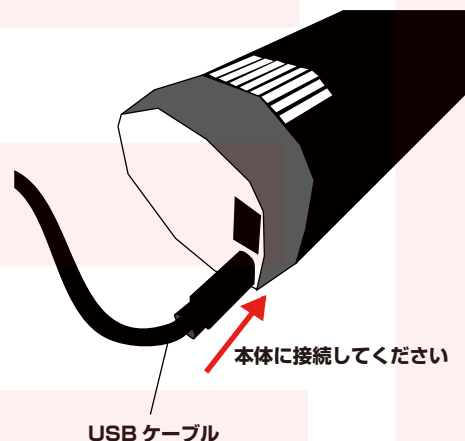
① USBケーブルをUSB-ACに接続

付属のUSBケーブルをUSB-AC(別売)などに接続して、充電ができる状態にしておきます。



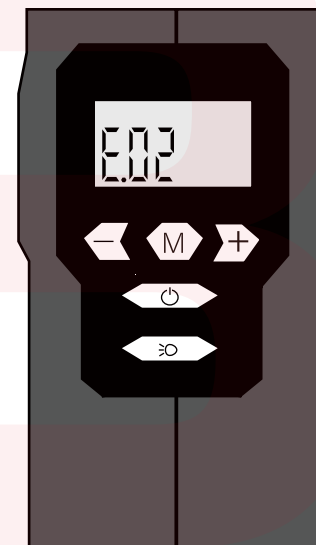
② USBケーブルを本体に接続

USBケーブルを本体に接続します



③ E02が表示されます。

E02が表示されます。E02の表示が消えるまで、そのまま放置してください。



④ 電源ボタンを押したままにする

電源ボタンを押したままにします

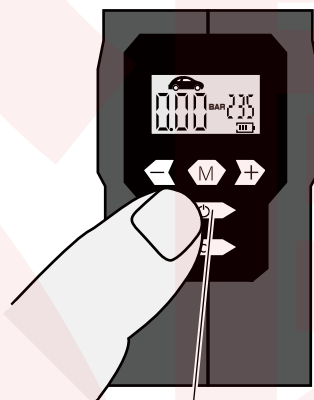
バックライトが点灯し、表示可能な文字やアイコンが全て表示されます。



⑤ 1分以上電源ボタンを押したままにする

1分間そのまま電源ボタンを押したままの状態にします
充電を強制的に行っております。

※ 1度目で改善しない場合は3分ほど押したままにしてご確認ください)

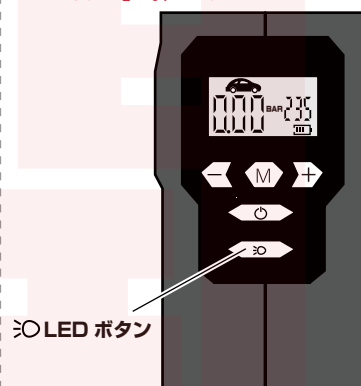


電源ボタンを押したままにする

画面が消えている場合は、一度指を離し、再度電源ボタンを押し続けてください。

⑥ LEDボタンを押します

電源ボタンを離すと[000]と表示されますので、「**すぐにLEDボタン**」を押します。



液晶面とは反対側にあるLEDが点灯すれば、充電が可能な状態となりますので、LEDボタンを3回押してLEDを消灯してください。充電状態となっておりますので、そのまま放置して充電を行ってください。

LEDが点灯しない場合は、E02が消えた後、再度④番からの作業を行ってください。1度では点灯しない場合があります。

⑦ 充電を行ってください

充電中は、バックライトが点灯します。充電を行っておりますので、そのままにしておいてください。

バックライトが消えると、充電が完了します。

※再度「E02」と表示される場合は、電圧が低すぎて正常な充電ができない状況となります。USB-ACは、5V/2A以上、安定して出力されるものをご利用ください。

